



# 令和2年度 当初予算

## 一般会計

令和2年度一般会計当初予算額は、令和元年度をもって合併優遇措置である地方交付税の合併算定替が終了し、地方交付税措置の高い合併特例債が発行上限額に到達していることなどから、事業の選択と集中を徹底して予算編成を行った結果、前年度比13.5%減の202億9400万円となりました。

合併支援策が終了することに伴い、令和2年度からは身の丈にあった予算規模に移行していくこととなります。厳しい財政状況ではありますが、市民サービスの維持と地方創生の実現に向け「子育て・教育の満足度向上」「暮らし・福祉の満足度向上」「移住定住・にぎわい創出の魅力度向上」「成長する産業づくりの拡大」「安心・安全なまちづくりの拡大」「持続可能な地域づくり市役所の変革」の6本柱を基本とした予算編成としました。

※6本柱の事業概要は12頁へ

## 特別会計・企業会計

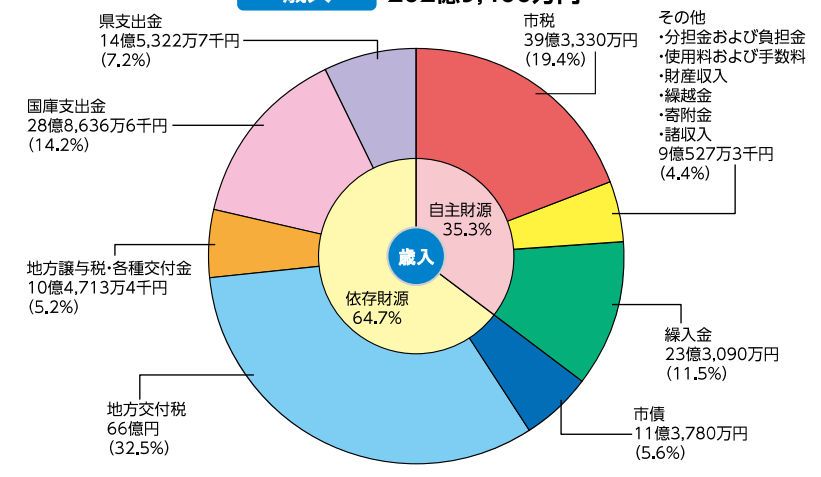
市には、一般会計とは別に、特定の事業を行う場合に、特定の歳入歳出を一般会計の歳入歳出と区別して処理するための会計があります。国民健康保険や介護保険などがこれにあたり、一般会計

とは別に特別会計といわれます。

また、一般会計、特別会計以外に、独立採算を原則とし、企業的な事業を行う水道事業会計などがあります。各会計の予算額は次のとおりです。

特別会計			
会計名	予算額		
国民健康保険特別会計	47億1,715万6千円		
後期高齢者医療特別会計	6億7,611万5千円		
介護保険特別会計	55億7,966万7千円		
企業会計			
会計名	予算額		
水道事業会計	収入	7億636万8千円	
	支出	6億5,603万3千円	
	収入	5億1,464万1千円	
	支出	7億1,722万5千円	
下水道事業会計	収入	12億1,839万5千円	
	支出	11億8,557万1千円	
	収入	10億885万1千円	
	支出	13億7,745万4千円	

## 歳入 202億9,400万円



## 主な歳入(収入)

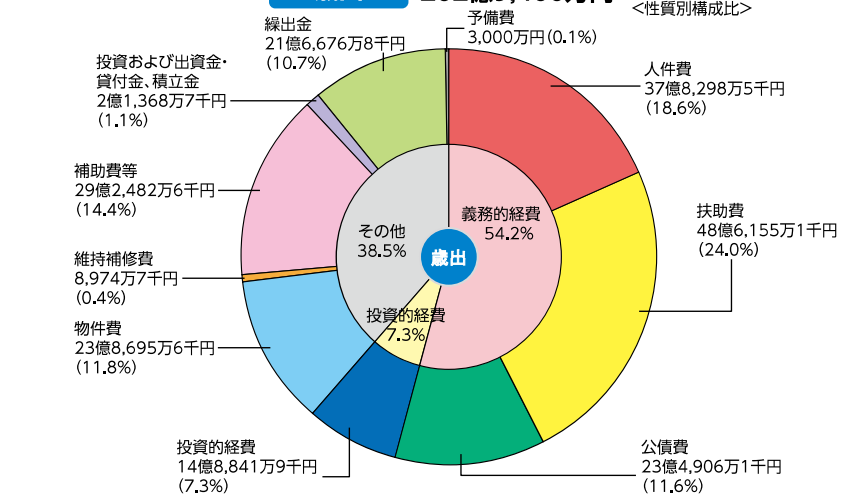
**市税** 法人税割の税率引き下げにより法人市民税が減収となるなど、前年度決算見込額等を踏まえ、総額で前年度比0.5%減の39億3,330万円を計上しました。

**地方交付税** 令和2年度から一本算定となる普通交付税の見込を近年の実績等を踏まえ試算し、前年度比3.1%増の66億円を計上しました。

**繰入金** 市債の償還の財源として減債基金から13億円を繰入、不足する財源を補てんするため財政調整基金から10億円を繰入するもの、都市再生整備事業に伴う地域振興基金の繰入の減などにより、総額で前年度比17.6%減の23億3,090万円を計上しました。

**市債** 山瀬小学校屋内運動場改築事業や消防防災活動拠点整備事業等の発行を予定しているもの、都市再生整備事業等の発行減があったため、総額で前年度比68.0%減の11億3,780万円を計上しました。

## 歳出 202億9,400万円



## 主な歳出(支出)

**義務的経費** 会計年度任用職員制度の導入に伴う増などにより前年度比10.6%増の37億8,298万5千円を計上しました。

**扶助費** プレミアム商品券事業や私立認可保育園委託料の減などにより前年度比3.1%減の48億6,155万1千円を計上しました。

**公債費** 定期償還金の増により前年度比1.2%増の23億4,906万1千円を計上しました。

**投資的経費** 一般廃棄物処理事業や中山間地域交流拠点整備事業などが増となったもの、都市再生整備事業や鴨島中央地区認定こども園整備事業の減などにより前年度比64.7%減の14億8,841万9千円を計上しました。

**その他の経費** 物件費、補助費等、繰出金などを合わせたその他の経費は、前年度比7.9%減の78億1,198万4千円を計上しました。